

ごとう通信

第 264 号

令和 4 年 12 月 1 日

十一月は…暖かったですよ。もちろん寒い日、冷たい雨も少しはありましたが、基本的に暖かく、個人的には快適でした。僕は極度の末端冷え性で、例年、十月くらいから足先の感覚がなくなることがあるのですが、今年はそのような経験もなく、十二月に入ろうとしているのに手袋もまだ使用していません。これはラッキーとは思いますが、地球温暖化?と思うと無条件に喜ぶというわけにはいきません。夏も冬も環境が変わってきた感じがします。

さて、毎年恒例ですが、



十二月一日は「ふれあい歯科ごとう」の開院記念日です。十九年前の十二月一日、それこそ冷たい雨の中でのスタートでした。

外来診療にいられている方なら一度は見たことがある診療室の予約帳。エクセルで作った様式は開業以来全く変わっていません(なんと、バンダーも開業当時のもの)。開業日は月曜日。開業祝がてら、今でもサロンで紙ひもクラフトを指導していただいている岡田夫妻が患者一号として駆けつけてくださいましたが、それ以降まったく白紙。患者さんってどうやってくるんだろう…と、めっちゃくちゃ不安になった記憶があります。今ではなかなか初診の方が入りにくい状況になっており、本当にありがたいとしか言えません。

と言うことはいよいよ二十年目が

スタート。決して突出した歯科医師でもないのに奇をてらったことではきませんが、これまで通り、誠実に日々を送っていきたいと思います。

もう一つの恒例、開業日は僕の誕生日でもあります。本当に偶然なんです。「せらび新宿」は元々東京電力の社員寮だったものをリノベーションして1階テナント、2階以上が高齢者のグループホームと有料老人ホームになりました。ある方の紹介で「せらび」に入ることになったのですが、当初、ビルの開業は翌年二月予定でした。工事などうまくいったのか前倒しで前年の十二月開業になったのです。それが偶然にも38歳の誕生日でした。もちろん準備は進めていたので前倒しでも開業することができました。

ちなみに歯医者さんがビルで開業しよ